

## 平成 26 年度 第 1 回常任委員会議事録

1 期 日 ; 平成 26 年 7 月 31 日 (木)

2 会 場 ; 神奈川県藤沢市・神奈川県立体育センター アリーナ会議室

3 出席者 ; 釜井、池田、根岸、安藤、松本、恒松、伊勢、村田、多田、豊田、和田、中村、平、大槻、柴田(神奈川県実行委員会)、福西(奈良県視察委員)

### 4 議事

1. 全国高体連 F 部長 (釜井)

2. 催地挨拶 ; 奈良県実行委員会 (村田)

3. 26 年度総体について (神奈川県実行委員会 ; 柴田)

・参加者・参加校数の確認

・連絡事項

1. 競技、式典、配布物、弁当、用具検査、競技会場、練習会場、駐車場、救護等について説明あり

・ 6 名プールの試合順に変更あり

・ 開会式の時間短縮、表彰閉会式について説明あり

・ 式典出席者・表彰授与者について説明あり

・ プログラムについては、参加者全員に配付。1 部 1000 円での販売あり

・ 協賛スポンサーが、コカコーラから大塚製薬に変わった

・ お弁当引換券の用意はない

・ メンテナンス業者が、3 社入る

・ 合格証・不合格証について説明あり

・ 観客席に荷物を置くことはできない。荷物は観客席後方の通路に地区ごとに置く

・ 観客席フェンスが強化アクリルガラスであるため、大勢が立って寄りかかると破損や倒壊する危険があるため立っての応援は禁止

・ 部旗はアクリルフェンスの下に吊り下げようにする

・ 競技場内への出入り口は 2 カ所に限定する

・ サブアリーナで針灸マッサージのサービスあり

・ 駐車場に車を留め置くことはできない

・ 2~5 日は、医師・看護師が常駐する

・ 視察は別の ID を発行する

・ 損害賠償保険について説明あり

・ 報道対応について説明あり

4. 第 39 回選抜大会 (奈良県 ; 村田)

・ 期日、会場、日程、参加申込み(昨年同様 HP からダウンロード)について説明あり

・ 配宿は JTB に依頼、橿原市内になる予定

・ プログラムは無償配付と有償配付を予定。またチーム写真を載せることを検討している

・ 資格審査については、担当常任委員が校務の関係で間に合わない可能性があるため、申込み締め切り期日を 1 月 30 日締め切りから 28 日締め切りに早めて対応する

5. 平成 27 年度総体について (奈良県 ; 村田)

・ 会場地の変更、日程、競技会場、練習会場、参加申込みについて説明あり

- ・会場が五條市に建設予定の体育館が間に合わないため、急きょ桜井市に変更となった
- ・日程変更はないが、競技開始時間は例年通り 9 時開始に戻る
- ・練習会場は 4 カ所を予定
- ・参加申込みは、奈良県実行委員会 HP からダウンロードする方式、6 月 25 日締め切り

## 6. 27 年度以降の全国大会について

- ・27 年度総体が五條市から桜井市に訂正
- ・28 年度選抜は山梨県甲府市を中心に調整中
- ・29 年度選抜は北信越ブロックで調整する
- ・31 年度総体は鹿児島県を中心に調整中
- ・32 年度総体の北関東ブロックは東京オリンピックの関係で変更になる可能性あり

## 7. 議事

### (1) 報告事項

#### ①26 年度前期専門部行事報告（釜井）

- ・前期行事について説明あり
- ・プログラム編成会議の日程を 2 日間で実施した。今後もこの流れでお願いしたい

#### ②26 年度第 1 回競技委員会報告（伊勢）

- ・競技員会で話し合われた内容の概要について説明あり

#### ③26 年度前期全国高体連報告（釜井）

##### (1)総体経費削減の取り組みについて説明あり

- ・用具検査ボードの購入、無線機の追加購入等で開催地の負担を減らす協力をしている

##### (2)体罰の根絶について

- ・競技会場本部席後方に横断幕を張って呼びかける

#### ④26 年度前期日本協会報告（釜井）

- ・総体ジュニア奨励賞メダルを全日本と同じ企画に調整中

### (2) 協議事項

#### ①25 年度専門部決算報告（根岸）

【承認】

- ・収入・支出の各項目について説明あり
- ・監査報告については、明日の全国委員会にて栗原監事が行う

#### ②26 年度専門部行事予定案（安藤）

【承認】

- ・26 年度行事について説明あり
- ・26 年度全国選抜日程、第 2 回全国委員会の日付に訂正あり

#### ③26 年度専門部予算案（根岸）

【承認】

- ・収入・支出について説明あり
- ・収入は前年度並みを想定して組んでいる
- ・無線機、検査ボードの購入分支出が増になっている

#### ④都道府県提案事項

##### 1. 選抜大会への新種目導入について（山口県；中間先生）

→小委員会を設置して、検討する。メンバーの選出は一任してもらう(競技委員会の兼務)

##### 2. 全国選抜大会北海道・東北予選会の開催方法・本年度予選会の結果についての報告（北海道；池田先生）

→7 道県で持ち回り実施することで始まり一巡した。東北ブロックが北海道へ行くことができないという制約があった。北海道高体連と東北高体連が話し合い、東北勢が北海道へ行くことを前提に持ち回り方式を継続する方向で検討している

##### 3. 昨年の大分大会における食中毒に関する総括と今年度の対応について（鳥取県；玉木先生）

- ・食品衛生実施要領で衛生管理を徹底している。またリーフレット、講習会(ホテル等宿舎

対象)、危機管理マニュアルで防止に努めている

- ・県保健体育課長からも厳重に注意するように話があった。

→釜井部長、柴田神奈川県実行委員から説明する

⑤26年度常任委員会人事案（釜井）

【承認】

- ・諸江克明副部長の移動により、新たに北海道の池田博人常任委員に副部長を依頼した
- ・北海道、北関東常任委員が変更になった

⑥その他

1. 秋田選抜の反省（根岸）

- ・予選プール1試合の平均所要時間は、男子51分、女子46分。決勝トーナメントは、男子47分、女子58分であった。昨年の長崎大会と大きな差はなかった
- ・2敗同士の対戦は、9試合で長崎大会より増えている

→競技日程、2敗同士の対戦実施の有無も合わせて新種目導入検討小委員会で話し合ってもらおう

2. 規約規程集の改定について（根岸）

- ・改正点については2月の常任委員会で承認されているため、この場では確認のみ。明日の全国委員会で承認を取りたい

3. 予算に関して（根岸）

- ・全国選抜大会の補助金について

【承認】

現在は専門部から100万円を補助金として支出している。これは専門部役員の旅費に使用するためにこの額に増額した。しかし、現状は赤字になり会場地に負担をかけている。そのため補助金の100万円を廃止して、選抜大化への専門部役員旅費を専門部の予算に組み込み専門部が持つ方法に変更したい

4. 加盟登録費の値上げについて（根岸）

- ・消費税が8%になり、選抜大会旅費が50万円ほど増額になることを考えると数年後には予算が組めなくなる。現在500万円近い繰越があるが、全国高体連に確認したところ繰越金は1年分の予算額程度が望ましいとの回答を得ている。現状の加盟登録費では、この繰越金額を維持できない。また消費税が10%になることも想定されるため、加盟登録費の値上げを検討したい

5. サーブル競技のタイマー稼働にについて

- ・慣例でタイマーを稼働させていないが、ルールには明記されていない。今大会はルール通りにタイマーを稼働させて実施する

7. 26年度加盟登録について（和田）

- ・登録期限を守れない県について、部長より厳重注意をして欲しい